

## 第5章 公共交通の課題の整理

ここでは、「第2章 公共交通に関する現状把握」、「第3章 上位関連計画の整理」、「第4章 市民ニーズの整理」を踏まえ、公共交通の課題を5つに整理しました。

現状		関連する課題
カテゴリ	現状	関連する課題番号
都市交通の現状	公共交通網	課題1、2、3、4
	人口分布	課題1、4
	運行本数	課題1、3、4
	運行間隔	課題1、3、4
	終発時刻	課題1、3、4
	定時性率	課題1、3
	利用者数	課題2、4、5
本市の現状と市民ニーズ	運行維持	課題1、2、3、4、5
	国の動向	課題1、2、3、4、5
	事故	課題3、4
	流動	課題1、2
	来訪者数	課題1、2、3
	歩行者数	課題1、2、3
	道路混雑	課題1、2、3、5
	環境	課題3、4、5
	人の動き	課題4、5
	市民ニーズ	課題1、2、3、4、5
にいがた交通戦略プラン 前期実施計画及び新潟市 地域公共交通網形成計画 の事後評価	○達成指標は、 <b>指標②</b> 「来訪者の路線バス利用者数増加」 <b>指標③-2</b> 「まちなかにおける路線バスの定時性率増加」 <b>指標④</b> 「区バス・住民バスの利用者数増加」 ○未達成指標は、 <b>指標①</b> 「鉄道・バス・タクシーの交通手段分担率増加」 <b>指標③-1</b> 「まちなかへの総トリップ数増加」 <b>指標⑤</b> 「『自家用車に頼らなければ移動しにくい』と感じる市民の割合減少」	課題1、2、3、4、5

## 取り組むべき主な課題

**課題1**  
交通手段間の適切な役割分担・連携・共創による公共交通ネットワークの確保維持

- 土地利用と連動した公共交通ネットワークの確保維持が求められる。
- デマンド交通や目的バス等の輸送資源を活用した公共交通ネットワークの確保維持が求められる。
- 公共交通ネットワークを確保維持するため、事業者間連携の強化や運転士の確保が求められる。

**課題2**  
アフターコロナを見据えた広域交通拠点と二次交通間の連携強化

- 来訪者の増加に向けた広域交通拠点と二次交通間の連携による来訪者への利便性強化が求められる。
- 市外の移動ニーズに対応した移動手段の確保が求められる。

**課題3**  
多様な移動手段を選択できるウォークアブルなまちなか空間の創出

- 「自動車に頼らなくても移動しやすいまちだと思わない」と感じている市民や「鉄道やバスなどで都心部へ気軽に行き来できる利便性」が必要と感じている市民が多いことから、市民ニーズに対応した移動手段が求められる。
- まちなかの歩行者通行量の減少から、まちなかの賑わい創出に資する移動手段の充実が求められる。

**課題4**  
だれもが移動しやすく地域に根差した交通環境の構築

- 公共交通空白地や運行頻度の少ない地域において、公共交通が利用しやすい環境整備が求められる。
- 高齢者等だれもが利用しやすい交通手段の確保が求められる。
- 区バスや住民バスを維持するため、利用者数の増加が求められる。

**課題5**  
カーボンニュートラルの実現に向け、地域と協働した公共交通利用環境の醸成

- 運輸部門におけるCO2排出量が政令指定都市のなかで最も高く、環境負荷への軽減措置が求められる。
- 自動車の分担率が高いことから、自家用車から公共交通への転換が求められる。